

上郷小学校の感染症予防対策をご紹介します。

## 「病気」と「けが」 部屋を分けています

病気の方は保健室へ



保健室の入り口には、ビニールシートを付けています。保健室前廊下の衛生を保つ工夫をしています。

《プレイルーム》



けがの方はプレイルームへ

《保健室》



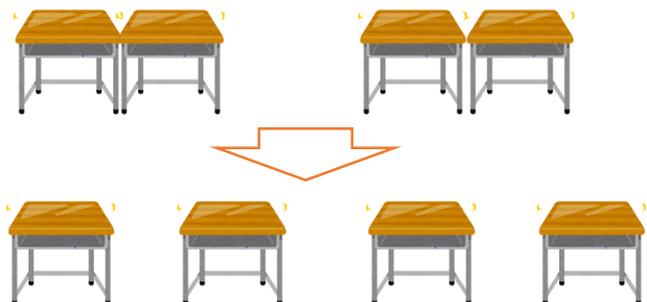
《教室前廊下》

軽いけがは、教室前でも処置ができるように、「手当コーナー」を設けています。ひどいけがの場合は、保健室となりのプレイルームに行きます。



## 3密を防ぐための工夫

《教室》



教室の机は、隣同士を離し、できる限り間隔をあけています。

《昇降口》



昇降口の掲示です。朝、昇降口が開く前など、並んで待ち、児童が密接状態にならないようにしています。

《トイレ前》



上靴はここに揃えて置きます。並ぶ場所と上靴を脱いだり履いたりする場所を分けることで、混雑を緩和します。

トイレ前、手洗い場の廊下に間隔をとって並べるように足形の印を付けています。



《手洗い場》



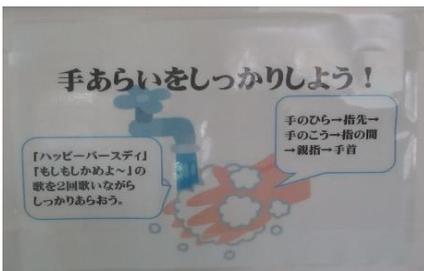
## 消毒について

トイレのドアノブ等は一日2回、教室、手すり等は放課後に消毒をして、衛生の保持に努めます。

特別教室の学習形態を変えたり、給食台拭きを毎日洗濯したりする等、日々の活動の方法を工夫していきます。



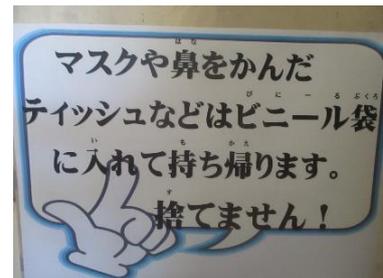
## 感染症に対する啓発活動



《各手洗い場の表示》



《各教室などの表示》



《保健室前の掲示》

廊下の掲示で、コロナウイルスに対する正しい知識や、マスク着用の必要性、手洗いの方法など、たくさんの情報を発信しています。

給食の配膳から片付けの仕方等、電子黒板を使って絵で説明するなど、全てのお子様に向けてわかりやすい情報発信をしていきます。

# 職員による感染症対策

職員も出勤時に検温結果を記入しています。



また、学校再開に向け、お子様が安心・安全に過ごしていただけるように、校内での感染症ガイドラインを作成したり、シミュレーション研修を行ったりしています。

職員も、手洗いをこまめに行い、常にマスクを着用します。必要により、フェイスシールド等の着用の準備もしています。